

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
1	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妊娠期から子育て期までの総合相談窓口である子育て世代包括支援センター「あえる」では、母子保健や育児に関するさまざまな悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援事業等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまで関係機関と連携をとりながらワンストップで切れ目のない支援を行います。 ■ 妊娠の届出に併せて、すべての妊婦の方と面接を行い、妊娠中の過ごし方を伝えるとともに、出産後も子育てに関するさまざまな不安や疑問などの相談に応じます。 	<p>母子健康手帳交付数:1,181件 転入による妊婦健康診査受診券交換数139 件に全数面接とリスクアセスメントを実施。</p> <p>妊娠届出数に対する妊婦の面接割合 実績値(R2): 96% ⇒ 目標値(R6): 100%</p>		子育て世代包括支援センター	70
2	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ■ 母子健康手帳交付時の保健指導を徹底し、未婚やひとり親、親族等身近な支援者がいない妊婦や、心身の健康に課題がある妊婦等、出産前から関わりを深め、虐待防止も含め出産後の養育に関する支援を行います。 ■ 出産後においても、経過観察の必要な乳幼児とその保護者への保健指導・個別相談を充実し、必要に応じて「育児教室」等集団指導を実施します。 ■ 新生児や乳幼児期における不慮の事故に対する認識を深めるとともに、事故発生時の対応等に役立つ知識の普及に努めます。 ■ 必要な相談・指導が受けられるよう、あらゆる機関との連携を図ります。 	<p>「育児教室」等集団指導の回数 全137回実施、実 122人、延 1,302人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、教室が中止となることが多く、参加人数も制限。 月・水・金曜日実施していたが、参加人数の調整のため、隔週ごとに参加者を振り分けての開催の時期などもあり。</p>	子育て世代包括支援センター	70
3	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	妊婦に対する健康診査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 妊婦の健康保持・増進を図り、妊娠に伴うリスクを軽減させるため、妊婦に対する健康診査を実施します。なお、妊婦健康診査の受診券は、子育て世代包括支援センターで母子健康手帳を交付する機会等に併せて交付することで、受診率の向上に努めます。 	<p>妊婦健康診査の受診率(妊婦健康診査1枚目の使用率) 実績値(R2): 93.9% ⇒ 目標値(R6): 100%</p> <p>届出1,181件、1枚目使用1,109件</p>		健康推進課	71
4	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	両親教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出産前から子育て準備期間と位置づけ、妊婦やその配偶者の体験・交流の機会のある両親教室を開催し、子育てに関する情報提供を行うとともに、実践で役立つ知識の普及を図ります。 ■ 両親教室の場を活用し、男性の育児参加の大切さを啓発します。 	<p>両親教室全10回開催、参加延62組。 男性の両親教室への参加者数 実績値(R2): 49人 ⇒ 目標値(R6): 100人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったこともあり、両親教室全10回開催。 また、密を避けることから定員を平日、日曜版共に半分の定員とした。</p>	子育て世代包括支援センター	71

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
5	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	乳幼児に対する健康診査	<ul style="list-style-type: none"> 市内全乳幼児の健康診査を実施し、健やかな発育と疾病予防のため栄養や口腔衛生等生活面についての助言を集団や個別で行うとともに、疾病の早期発見、運動発達や精神発達等について聞き取りやスクリーニングを行い、支援が必要な子どもとその保護者がいる場合、関係機関へ情報提供し、適切な対応を行います。また健康診査時には、「養育状況」の問診も行っており、養育面について必要な助言を行うほか、虐待の予防・早期発見にも努めます。 乳幼児健康診査の重要性を呼びかけるとともに、受診率の向上に努めます。 新生児や乳幼児期における不慮の事故に対する認識を深めるとともに、事故発生時の対応等に役立つ知識の普及に努めます。 	<p>4か月児健診: 実績値(R2): 92.0% ⇒ 目標値(R6):99.0% 個別医療機関委託にて通年実施、受診者1,116名/案内数 1,213名</p> <p>1歳6か月児健診: 実績値(R2): 95.6% ⇒ 目標値(R6):96.0% 年26回開催、受診者数1,185名/案内数1,239名</p> <p>2歳児歯科健診: 実績値(R2): 89.0% (フッ化物塗布52.4%) ⇒ 目標値(R6):94.0% 年14回開催、受診者580名(フッ化物塗布304人)/案内数651名</p> <p>3歳6か月児健診: 実績値(R2): 88.5%(フッ化物塗布56.1%) ⇒ 目標値(R6):94.0% 年26回開催、受診者数1,039名(フッ化物塗布583人)/案内数1,173名</p>		健康推進課	71
				<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査の未受診世帯については、健康診査の再案内や家庭訪問などで乳幼児やその保護者の状況把握に努めます。また、関係各課と連携・協力し、未受診世帯への適切なフォローを実施します。 従来の乳幼児健康診査では対応しきれない発達上の特性によって生じる問題を早期に把握し、その発達上の特性の理解と支援を行い、保護者とその子どもの就学を迎える準備を整えるために、すこやか5歳児事業(巡回支援事業)を実施しています。事前アンケートによるアセスメントを行ったうえで、臨床心理士等の専門スタッフが園(所)へ巡回訪問し、集団生活の観察や保育教諭等への聞き取りなどを行い、専門スタッフと在籍先の園(所)の保育教諭等が協力し、継続的に保護者と子どもを支援します。 	<p>集団健診で要経過観察・要医療判定の件数 4か月児健診:74件(*医療機関での個別健診) 1歳6か月児健診:674件(*身体心理延べ件数) 3歳6か月児健診:317件</p> <p>集団健診で要精密検査判定(精密検査受診人数)件数 4か月児健診:18件(不明) 1歳6か月児健診:43件(32件) 3歳6か月児健診:22件(15件)</p>		健康推進課	72
				<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健康診査の未受診世帯については、健康診査の再案内や家庭訪問などで乳幼児やその保護者の状況把握に努めます。また、関係各課と連携・協力し、未受診世帯への適切なフォローを実施します。 従来の乳幼児健康診査では対応しきれない発達上の特性によって生じる問題を早期に把握し、その発達上の特性の理解と支援を行い、保護者とその子どもの就学を迎える準備を整えるために、すこやか5歳児事業(巡回支援事業)を実施しています。事前アンケートによるアセスメントを行ったうえで、臨床心理士等の専門スタッフが園(所)へ巡回訪問し、集団生活の観察や保育教諭等への聞き取りなどを行い、専門スタッフと在籍先の園(所)の保育教諭等が協力し、継続的に保護者と子どもを支援します。 	<p>すこやか5歳児事業 対象者2,083人(年中・年長) (年中)対象園 31園 実施園 30園 受診人数 944人 (年長)対象園 28園 実施園 27園 受診人数 859人</p> <p>すこやか5歳児事業受診割合 実績値(R2):87%⇒目標値(R6):90%</p>		子育て世代包括支援センター	72
6	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	乳児家庭全戸訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> 生後4か月までの乳児がいる家庭を対象に、訪問員が訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供し、保健指導が必要な家庭については、継続して支援を行います。 保健指導が必要な産婦及び新生児(出生後28日以内の乳児)がいる家庭に対して助産師等による訪問指導を行い、好ましい母子関係のなかで育児が行えるよう虐待防止を含め、きめ細かな育児支援を行います。 出産後の身体的・心理的な不調や育児不安等で支援が必要となる生後5か月未満の乳児とその母親を対象に行う産後ケア事業を実施しています。助産師が自宅を訪問、または産後ケアを提供できる施設へ宿泊し、母親の心身のケアや育児支援を行うことで、母子とその家族が健やかな育児を行えるよう環境整備に努めます。 	<p>乳児家庭全戸訪問実施による状況把握割合 実績値(R2): 86% ⇒ 目標値(R6):95%</p> <p>助産師訪問件数 462件 看護師訪問件数 42件 民生委員訪問件数 146件 保健師訪問件数 172件 コロナ禍のため電話対応、他市依頼 124件</p>		子育て世代包括支援センター	72
7	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	小児医療に関する情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康確保に向け、かかりつけ医の重要性を啓発するとともに、医療機関のかかり方についても周知を図ります。 広報や市ホームページ等のあらゆる媒体を活用し、休日・夜間等の救急医療体制や小児救急電話相談等の情報を積極的に提供するとともに、周知に努めます。 	<p>広報誌に健康カレンダーを折り込み、全戸配布。</p> <p>令和元年度「すこやか親子21アンケート」より 4か月児健診 受診者967名</p> <p>小児救急電話相談事業(#8000)について 知っている:801名(82.75%) 知らない:166名(17.15%) 無回答: 1名(0.10%)</p>		健康推進課	72

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
8	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	予防接種の知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予防接種手帳の活用を進め、予防接種の種類や接種時期だけでなく、その有効性の理解促進に努めます。 	麻しん・風疹予防接種1期の接種率 実績値(R2): 99.8%【1,121件/1,123人(R2年10月1日時点の1歳児数)】⇒目標値(R6):95%以上 麻しん・風疹予防接種2期の接種率 実績値(R2): 93.5%【948件/1,014人(R2年4月1日時点のH26.4.2~H27.4.1生まれの人数)】⇒目標値(R6):95%以上 (注)厚生労働省通知の「麻しんに関する特定感染症予防指針」及び「風しんに関する特定感染症予防指針」において、市町村単位で第1期・第2期の接種率を95%以上にすることが目標と定められています。		健康推進課	73
9	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	不妊治療に関わる医療に対する費用の経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもが欲しいと望んでいる夫婦に対して、不妊かどうか正しく判断し、適切な治療を受ける機会を支援するために、不妊検査及び不妊治療に要する費用の一部を助成します。 	不妊検査及び不妊治療(一般)に係る費用の助成の申請数 70件		健康推進課	73
10	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	助産制度による分娩費の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済的理由により入院助産を受けることができない妊婦に対して、指定の助産施設での分娩費を支給します。 	対象者:11人(令和2年度中に助産施設で分娩した人数) 内訳:A階層(生活保護世帯) 8人 B階層(非課税世帯) 3人 支給額:7,357,480円		子育て世代包括支援センター	73
11	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	出産育児一時金	<ul style="list-style-type: none"> ■ 守口市国民健康保険に加入している方が出産したとき(妊娠12週以上の死産・流産を含む)に、その世帯主に対して一時金を支給します。 ※他の健康保険に加入している方は、ご自身の加入している健康保険にお問い合わせください。 	支給件数:124件 支給総額:49,106,936円		保険課	73
12	子どもの豊かな成長支援	子どもと母親の健康確保	子どもに関する医療費助成制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0歳から中学校卒業まで(出生の日から満15歳に達する以後における最初の3月末日を経過するまで)の子どもが疾病等で通院や入院をした場合に、その子どもにかかる医療費の一部を助成します。 	対象者:15,159人(令和3年3月末) 助成件数:164,988件 助成額:364,338,567円		子育て支援政策課	73
13	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	乳幼児の教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児期の生活や遊びを通して、生活習慣を身につけ、また、子どもの主体性や豊かな感性、人と関わる力を育むとともに、家庭と連携し、自己や他者への信頼感を育てます。 ■ 教育・保育において、生涯にわたる生きる力の基礎を培うための資質・能力を育みます。 ■ 教育・保育の質の確保、維持、向上に向け、認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、子どもが人、もの、自然等の身近な環境に豊かに関わりあえるよう努めます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・集団生活において経験年数が異なる子どもの発達の連続性を踏まえた教育・保育を進めた。 ・子どもたちの気持ちに寄り添い、それぞれに主体性が育まれるよう肯定的な言葉の投げかけを行った。 ・児童たち自らで小動物(アオムシ、メダカ等)や花(コスモス、チューリップ等)、野菜(ミニトマト、なす等)を育てる機会を作ることで、成長の喜びなどの児童の感性を育んだ。 ・児童が自然等の身近な環境に触れ合えるよう、お散歩遠足等の園外活動を行った。 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ乳幼児の教育・保育に係る様々な取り組みを実施		こども施設課	74
14	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもが人と関わる力を培うとともに、小学校教育への円滑な接続ができるよう、認定こども園、幼稚園、保育所および小規模保育事業所において、近隣市立小・中学校等との交流や連携の充実に努めます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・地域サークルによる絵本の読み聞かせ(各施設1~2回/年、4・5歳児が対象) ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ世代間交流に係る様々な取り組みを実施	※例年、小、中学生との交流、介護老人福祉施設への訪問等を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	こども施設課	74

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
15	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	保育教諭等の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 保育教諭、幼稚園教諭、保育士の資質及び技術の取得や維持向上を図るための研修、また子どもの人権尊重等の専門性を高める研修を推進し、人材育成に努めます。 	<p>「市立認定こども園での取組等」</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開保育等の園内研修の実施 外部団体主催研修会(ちやいるどネット大阪等)の受講 <p>「市主催の公・私合同研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 守口市教育・保育合同研修会(全2回開催) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全てオンライン研修 <p>「私立認定こども園等への研修受講費補助」</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士処遇改善研修事業 …キャリアアップ研修の受講費用に係る補助 <R2補助額>2,374,000円(28/51施設) <p>市主催の研修に参加する施設の割合 実績値(R2): <u>57.4%</u> ⇒ 目標値(R6): 87%</p>	新型コロナウイルス感染症の影響により研修回数が減少したため。	こども施設課	74
16	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	配慮が必要な乳幼児への支援	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、特別な支援、援助や配慮の必要な子どもに対してインクルーシブ教育・保育の充実を図ります。 	<p>「市立認定こども園での取組等」</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育の一日の流れを視覚カードや絵を用いるなど、視覚支援による保育を実施 保育教諭等の追加配置(加配)による支援 <p>※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ配慮が必要な乳幼児への支援に係る様々な取り組みを実施</p>		こども施設課	75
				<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、特別な支援、援助や配慮の必要な乳幼児の教育・保育の充実を図るため、保育教諭等に対して、言語聴覚士や臨床心理士等の専門講師またはリーディングスタッフ等による巡回相談や研修等を行います。 	<p>市立認定こども園においては、各園1回ずつ、リーディングスタッフによる訪問相談を行った。また私立の園所からも1回訪問相談を行った。</p> <p>支援教育講演会: 認定こども園教諭等のべ9名参加 支援教育夜間懇談会: 認定こども園教諭等のべ26名参加</p>	研修に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を制限して実施。	学校教育課	75
17	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	学校教育への円滑な接続に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園及び保育所において育んできた資質・能力を小学校教育へ円滑に接続できるよう「守口市接続期カリキュラム」等を活用し、保育教諭等と小学校教諭が連携し、互いの理解を深める交流、問題の解決に努めます。 認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業及び市立小学校等において、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育を実施します。 子どもが人と関わる力を培うための異年齢交流を乳幼児の時期から積み重ねていく大切さを推奨します。市立小・中学校等では、家庭科の授業で作成した絵本の読み聞かせや手作りおもちゃ遊び等を通して、認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業等の児童との交流を深めます。 	<p>「市立認定こども園での取組等」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(改訂)幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「(改定)保育所保育指針」や、それらを基に策定した「守口市版接続期カリキュラム」に基づき、小学校への円滑な接続に向け、遊びを通じた指導の中で知識や思考力を育てていくとともに、保育要録などを活用し、小学校との情報共有も行った。 <p>※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ学校教育への円滑な接続に向けた取組みを実施。</p> <p>認定こども園と小学校等の交流回数(認定こども園1園あたり) 実績値(R2): <u>0回</u> ⇒ 目標値(R6): 5回</p>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	こども施設課	75
					<p>公開園内研修 市立認定こども園 各園1回 当課主催の支援教育に係る研修会等 3回</p>	研修に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を制限して実施。	学校教育課	75

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
18	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	就学前相談	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園及び保育所において、在園児に限らず乳幼児の保護者を対象に子育て相談を随時実施し、育児の負担感、孤立感の軽減に努めます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・園庭開放等の子育て支援事業(相談受付、保護者交流の場の提供等)を実施(各施設 月1～2回程度) ・子育て相談については随時実施 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ就学前相談に係る様々な取り組みを実施		こども施設課	75
19	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	子育てに関する講習等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援拠点施設等において、季節・伝統文化の行事の実施、講師を招いた子どもの発達や栄養等に関する講習を実施します。 	地域子育て支援拠点施設で実施した子育てに関する講習会の開催回数 実績値(R2): 58回 ⇒ 目標値(R6): 116回	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育てに関する講習会を一部中止したことにより、開催回数が予定より減少した。	子育て世代包括支援センター	76
20	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	子育て便り等の発行	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、日々の教育・保育の様子や子育てに関する情報を掲載したお便りを定期的に発行し、保護者との連携・信頼関係を構築することで、保護者の子育てへの不安の軽減に努めます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・児童の保育中の写真を撮り、場面の説明や児童のつぶやきなどを書き加えた上で園内に掲示することで、保育ドキュメンテーションによる保育の見える化を実施 ・園だよりの発行(月1回) ・クラスだよりの発行(年6回程度) ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ子育て便り等の発行に係る様々な取り組みを実施		こども施設課	76
21	子どもの豊かな成長支援	就学前の教育・保育の充実	教育・保育施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な教育・保育環境の整備に向け、教育・保育施設の耐震化に努めます。 	教育・保育施設の耐震化率 実績値(R2): 90.7% ⇒ 目標値(R6): 100%		こども施設課	76
22	子どもの豊かな成長支援	生きる力を育む教育環境の整備	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等では、これからの時代を主体的に生きるために必要とされる資質・能力を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善とともに、家庭等での学習習慣の確立など、自学自習力の育成に向けた取組みを進めます。 	実績値(R2): 小学校等 国語:実施なし 算数:実施なし 中学校等 国語:実施なし 算数:実施なし 目標値(R6): 小・中学校等の各教科それぞれで1以上(全国平均値を1とした場合の本市の値)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国学力・学習状況調査の実施がなかった。	学校教育課	76
23	子どもの豊かな成長支援	生きる力を育む教育環境の整備	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等では、新体力テスト等により実態把握を行い、体育の授業だけでなく外遊びの奨励を行うなど、教育活動全体を通して、健康の保持・増進及び体力の向上にかかる取組みを進めます。 	実績値(R2): 小学校等:実施なし 中学校等:実施なし 目標値(R6): 小・中学校等の各教科それぞれで1以上(全国平均値を1とした場合の本市の値)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施がなかった。	学校教育課	77
24	子どもの豊かな成長支援	生きる力を育む教育環境の整備	心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等では、指導方法の工夫を図りつつ、社会体験や自然体験、交流活動等を取り入れながら、人権教育・道徳教育の充実を図り、子どもの豊かな人間性と社会性を育みます。 	全校で、全体計画・年間指導計画・別業を作成して取組みを推進している。 市教委主催の研修を実施し、授業づくり、評価方法等について実践的な研究を進めることができた。		学校教育課	77
25	子どもの豊かな成長支援	生きる力を育む教育環境の整備	小・中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等では、「確かな学力」の定着や健康な心と体の育成のため、中学校区・義務教育学校ごとに「めざす子ども像」を掲げ、学校・家庭・地域が力を合わせ、中学校区・義務教育学校が一体となって、義務教育9年間の学びと育ちのつながりを意識した一貫教育を推進します。 	・中学校区教育フォーラムの実施は1中学校区、1義務教育学校	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止、内容の変更があったため。	学校教育課	77

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
26	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	進路先訪問	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校等では、6年生を対象に、進学する中学校等を訪問し、授業や部活動の体験などを通して、子どもが中学校等での生活の見通しを持てるよう取り組みます。 市立中学校等では、高等学校の体験学習会やオープンキャンパス等の機会を利用して、進学を希望する高等学校等への訪問を進め、進学の意欲を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校13校及び義務教育学校にて実施 中学校7校及び義務教育学校にて実施 		学校教育課	77
27	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	職場体験学習	<ul style="list-style-type: none"> 市立中学校等では、職場体験の目的や社会のマナー等を学ぶ事前学習のうえ、複数日にわたる職場体験学習を実施し、その後、子どもたちが自身の体験を発表し共有するなどの事後学習も行うことで、さまざまな仕事についての理解を深め、望ましい職業観、勤労観を育成します。 	<p>職場体験：実施なし 代替として、学校から事業所等へ依頼し、職業に対する実体験等を交えた講話をいただく取り組みなどを行った。</p>	職場体験については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	学校教育課	77
28	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	自然体験学習	<ul style="list-style-type: none"> 専門家による農業体験等の出前授業や宿泊行事を通して、市立小・中学校等に通う子どもが自然に触れる機会を持ち、自然に親しむ心を育む教育を進めます。 	<p><小学校及び義務教育学校前期課程> 5年 林間学舎 6年 修学旅行 <中学校及び義務教育学校後期課程> 1年 スキー実習、少年自然の家での自然体験学習 2年 青少年自然の家などでの自然体験学習 3年 修学旅行</p>		学校教育課	78
29	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	福祉体験	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子を使った身体障がい者体験、アイマスク・盲導犬を活用した視覚障がい者体験を行うとともに、老人ホームや障がい者作業所への職場体験等による交流を通じて、すべての人が生きていくことの大切さを学ぶ教育や、障がいのある人に対する理解を深める教育を進めます。 	市立学校全校で実施しており、在籍する児童、生徒の実態に応じて教員が設定した内容について取り組んだ。		学校教育課	78
30	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	障がいのある人との交流	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において障がいのある人との交流を通して、障がいのある人に対する理解を深める教育を進めます。 	<p>「市立認定こども園での取組等」 ・花の苗の植え付けを通じて障がいのある人と交流 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ障がいのある人との交流に係る様々な取り組みを実施</p>	例年、園児と障がいのある人で花の苗の植付けを年2回程度行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1回のみの実施（一部施設は中止）。	こども施設課	78
				<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校等において、障がいのある人と花の苗を植える活動や運動会のダンスを披露しあう等の交流を通して、障がいのある人に対する理解を深める教育を進めます。 	<p>前期：各校142ポット 後期：各校142ポット</p>		学校教育課	78
31	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	図書環境の充実と読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> 第2次守口市子ども読書活動推進計画(令和2年度から)に基づき、守口市のすべての子どもが読書の楽しみを知り、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進します。また、守口市立図書館はもとより、守口文化センター内などの市内図書室についても、市民が積極的に利用したいと思えるような図書環境の充実に努めます。 	<p>子ども読書活動推進事業の年間開催回数 実績値 (R2) : 16回 ⇒ 目標値 (R6) : 100回</p> <p>「おはなし劇場」：1回開催 (守口市立図書館主催事業) 「おはなし会」：計13回開催、延169名参加 「あおぞらおはなし会」：1回開催、56名参加 「ぬいぐるみお泊まり会」：1回開催、5名参加 他、年間を通じて司書のおすすめ本の展示やリストの配付を実施</p>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり開催回数が減少した。	生涯学習・スポーツ 振興課	78
				<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、絵本に親しみやすい図書コーナーの整備に努めるとともに、職員をはじめ、地域サークルや中学生による絵本などの読み聞かせを推奨します。 	<p>「市立認定こども園での取組等」 ・地域サークルによる絵本の読み聞かせ (各施設1～2回/年、4・5歳児が対象) ・園庭開放や子育て支援交流活動時に絵本の貸し出しを実施</p>		こども施設課	78
				<ul style="list-style-type: none"> 親密な親子関係の構築に役立てるため、認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、園庭開放などの機会に未就園児にも絵本の貸出しを行うなど、親子で一緒に絵本を読むことを推奨します。 	<p>※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ図書環境の充実と読み聞かせに係る様々な取り組みを実施</p>		こども施設課	78
				<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等において、学校司書による推薦図書コーナーの設置や昼休み時間の図書室の開放等、図書環境の充実に努めます。 市立小学校等において、学校司書やボランティアによる読み聞かせのほか、高学年の図書委員による低学年への読み聞かせを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書12名(7中学校区・1義務教育学校) 学校図書館図書標準の達成状況 小:23.1% 中:57.1% 読み聞かせ実施校数 小学校等14校 		学校教育課	79

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
32	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none"> 4か月児健診の実施時に絵本を進呈するとともに、絵本の読み聞かせ体験等を実施しています。0歳から絵本を通じて、「親子のふれあい」を深めるきっかけづくりを促進します。 	絵本の年間配布数1,022冊。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4か月健診時ではなく、郵送で配布した。	子育て世代包括支援センター	79
33	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	学校運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民の代表等が学校運営協議会の委員となり、学校運営やその運営に必要な支援についての協議等を行い、学校教育や子どもたちを取り巻く教育環境の充実を図ります。 地域住民が授業学習補助や学校の環境整備、登下校の安全パトロールなどの支援を行うため、学校支援コーディネーターが学校と地域のつなぎ役となって、地域の絆づくりと地域の教育力の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校区等に学校運営協議会を設置 全中学校区等で年間4～5回会議を開催 		学校教育課	79
34	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	校内相談窓口の 活用	<ul style="list-style-type: none"> すべての児童・生徒が相談しやすいよう、男性教員及び女性教員を複数配置し、校内相談窓口での相談を通じてセクシュアル・ハラスメントやいじめ等、人権侵害の予防と早期発見につなげます。また、入学式終了後の際に保護者にもその周知を行うなど、児童・生徒のみならず、保護者への情報発信にも努めます。 	差別事象：1件		学校教育課	79
35	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	教職員の資質・ 能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等の課題やニーズに応じた研修を実施し、教職員の資質向上を図るなど、教育指導体制の充実に努めます。 	教職員の研修受講率 (全教職員に対する研修受講割合) 実績値(R2)：20% ⇒ 目標値(R6)：150%(1人当たり1.5回)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して研修を実施 [教職研究カレッジ] 中止 [校内研究推進研修]1回開催 参加者：21名 その他、市教委主催教職員研修(15回)：延114名参加 研修動画や成果物など資料提供により研修内容の周知を図った。	教育センター	79
				<ul style="list-style-type: none"> 体罰、セクシュアル・ハラスメントなど子どもの人権侵害を未然に防止するため、各市立小・中学校等において教職員への研修を実施するとともに、市教育委員会主催による研修も実施します。 	毎校長、教頭会にて研修を実施 不祥事事案：0件 不適切な指導に対する指導：1件 今後も研修会の実施等を行い不祥事ゼロを目指し、児童生徒への人権侵害の未然防止に努める。		学校教育課	80
36	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	教育相談事業・ 適応指導教室	<ul style="list-style-type: none"> 教育センターに専門相談員を配置し、不登校・いじめ、学習・進路、特別支援教育等に関して、市立小・中学校等に通う子どもやその保護者、教職員からの相談に応じます。 子どもの心理に関して高度な専門知識と経験を有するスクールカウンセラー(臨床心理士)を市立小・中学校等へ派遣し、通学児童・生徒へのカウンセリング、その保護者や教職員への助言や支援を行います。 	小学校等における不登校の減少(千人率) 実績値(R2)：10.4 ⇒ 目標値(R6)：5.0 中学校等における不登校の減少(千人率) 実績値(R2)：49.1 ⇒ 目標値(R6)：36.4	※新型コロナウイルス感染症拡大防止による一斉休校や各校の行事の中止等、子ども同士の関係づくりを進めることが難しくなっていることから、不登校児童生徒数が増加していると考えられる。	教育センター	80
				<ul style="list-style-type: none"> 学生フレンド※(学生ボランティア)が、市立小・中学校等に通う子どもの不登校の家庭へ訪問するなどし、話し相手・相談相手となって、学校復帰に向けた支援を行います。 	学生フレンド8名を延296回派遣し、学校復帰を支援。		教育センター	80
				<ul style="list-style-type: none"> 不登校で悩む市立小・中学校等に通う子どもに、教育相談や集団生活への適応指導等を行い、学校復帰への支援を行います。 	通室児童生徒：11名 中3生全員進路決定		教育センター	80
37	子どもの豊かな 成長支援	生きる力を育む 教育環境の整備	就学援助費	<ul style="list-style-type: none"> 経済的な理由により就学困難な市立小・中学校等に通う子どもの保護者に対し、学校でかかる費用の一部を援助します。 	小学校等総計：1,249人 中学校等総計：656人		学校教育課	80

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
38	子どもの豊かな 成長支援	思春期保健対策 の充実	「薬物乱用防止 教室」の開催等	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等で、ボランティア団体や保護司会、更生保護女性会等の協力を得て「薬物乱用防止教室」を開催します。 市立小・中学校等の授業において、シンナーや危険ドラッグ等の薬物乱用や喫煙を未然に防止することを目的とした指導を行います。また、受動喫煙も含め、健康に与える影響についても、引き続き周知、啓発します。 	市立小・中学校等において薬物乱用防止について 取り扱った学校数 実績値(R2)： 7 校 ⇒ 目標値(R6)：21校	新型コロナウイルス感染症拡大防止による実施制限により開催できなかったため。	学校教育課	80
39	子どもの豊かな 成長支援	思春期保健対策 の充実	「非行防止・犯罪 防止教室」の開催等	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等で、枚方少年サポートセンターや守口警察少年係等の協力を得て「非行防止・犯罪防止教室」を開催します。また、万引きや窃盗、ひったくり、喫煙等の少年の非行を未然に防止することを目的とした指導を行います。 	市立小・中学校等において非行防止について 取り扱った学校数 実績値(R2)： 14 校 ⇒ 目標値(R6)：21校	新型コロナウイルス感染症拡大防止による実施制限により開催できなかったため。	学校教育課	80
40	子どもの豊かな 成長支援	思春期保健対策 の充実	性に関する学習	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等において、保健体育等の時間を中心に、発達段階に応じたカリキュラムを編成し、教科書、性教育副読本等を活用し、性に関する学習に取り組みます。 	学習指導要領に沿って、全校において実施した。 実績値(R2)： 14 校 ⇒ 目標値(R6)：21校		学校教育課	80
41	子どもの豊かな 成長支援	次代の親の育成 支援	男女平等教育の 推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼少期からの男女共同参画の意識形成に向けて、学校教育において男女平等教育を推進します。 	全校で、全体計画・年間指導計画を作成して取組みを推進している。	研修に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施できず。	学校教育課	81
42	子どもの豊かな 成長支援	次代の親の育成 支援	乳幼児との ふれあい体験	<ul style="list-style-type: none"> 市立中学校等では職場体験等の一環として、認定こども園、幼稚園及び保育所を訪問し、幼い子どもとふれあう機会を持つことで、中学生が子どもを産み育てることの意義を深く理解し、男女が共同して家庭を築く大切さを感じることができる取組みを推進します。 	乳幼児とのふれあい体験を実施した学校数 実績値(R2)： 0 校 ⇒ 目標値(R6)：8校	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施できず。	学校教育課	81
43	子どもの豊かな 成長支援	食育の推進	妊婦及び乳幼児への食生 活指導	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出の機会を活用して、妊娠中の食生活について指導します。 離乳食講習会※や乳幼児相談等の機会を活用して、個々に合わせた食生活指導の実施に努めます。 	離乳食及び栄養相談の件数 実績値(R2)： 81 件 ⇒ 目標値(R6)：160件 令和2年より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催携帯を集団実から個別に変更。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催形態を集団から個別へと変更したため、周知不十分で数も少なかった。 R3年度以降は栄養相談の実施回数を増やし、目標値を約2倍に設定する。	子育て世代包括支援センター	82
44	子どもの豊かな 成長支援	食育の推進	就学前における 食育	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、「食」を楽しみながら、望ましい食習慣や知識を習得することができるよう、家庭や地域と連携した食育に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「市立認定こども園での取組等」 ・5歳児クラスにおいて、食材の栄養素三色分けを実施 ・園内で野菜(じゃがいも、サツマイモ等)の栽培から収穫、調理までを行い、その野菜を給食に取り入れるなど、連続性を持たせた食育活動を実施 ・給食だよりを通して食に関する情報を発信(月1回) ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ食育に係る様々な取組みを実施		こども施設課	82
45	子どもの豊かな 成長支援	食育の推進	小・中学校等に おける食育	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等では全教育課程において、食育全体計画をもとに、各校が特色のある食に関する指導に取り組みます。 市立小・中学校等では「給食だより」等のお便りにより、家庭に対する食生活についてのワンポイントアドバイスや給食の栄養バランス、食の大切さを伝えます。 市立小学校等では、給食委員による献立紹介により食についての関心を高めます。 	学習指導要領に沿って、全校において実施した。		学校教育課	82
46	子どもの豊かな 成長支援	特別な支援が必要 な子どもへの対応	障がい児や特別な配慮が 必要な 子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> わかさ・わかさぎ園※では、多様な障がいに対応した専門的な発達支援を行うとともに、療育支援施設※の役割について、さらなる啓発に努めます。 わかさ・わかさぎ園を拠点として、障害児相談支援、保育所等訪問支援、外来療育等を実施し、通園児に限らず地域の障がい児や特別な配慮が必要な子どもへの支援を行います。 	「障がい児相談支援」 (利用者数)344人 (相談件数)6,079件 「保育所等訪問支援」【認定こども園：4人、幼稚園0人小学校0人】 (利用者数：8人、訪問回数：12回、報告及び三者話し合い：17回) 「外来療育」 (ぞうさんグループ：当園にて) 開催日数：前期5人/7回、後期5人/7回		子育て支援政策課 (わかさ・わかさぎ園)	83

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
47	子どもの豊かな 成長支援	特別な支援が必要 な子どもへの対応	就学指導	■ 市立小学校等への就学に備え、必要に応じて、子どもとその保護者に対し関係機関が連携・協議し、学校生活を送るための指導を行います。	就学指導委員会の開催回数 2回(8月・12月)、2月は中止		学校教育課	83
48	子どもの豊かな 成長支援	特別な支援が必要 な子どもへの対応	特別児童扶養手当	■ 精神または身体に障がいがある20歳未満の者の福祉の増進を図ることを目的に、これらの者を家庭で監護、養育する父母等に手当を支給します。	受給者：361人(令和3年3月末現在) 4月、8月、11月の3回に分けて支給		子育て支援政策課	83
49	子どもの豊かな 成長支援	特別な支援が必要 な子どもへの対応	障がい児福祉手当	■ 重度障がい児の福祉向上を図ることを目的に、精神または身体に重度の障がいがあるため、日常生活で常時介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の者に手当を支給します。	年4回(5、8、11、2月)、前3ヶ月分の手当を支給。 説明会は新型コロナウイルスのため、中止。 ※対象者：1,141人、支給金額：16,940,200円 (※「対象者」は令和2年度支給対象各月の対象者数の年間延べ人数)		障がい福祉課	83
50	子どもの豊かな 成長支援	特別な支援が必要 な子どもへの対応	障がい福祉 サービス等	■ 主に小学生以上を対象に障がいの状況や家庭の状況等により、居宅介護(ホームヘルプ)や移動支援事業(ガイドヘルプ)、短期入所(ショートステイ)、日中一時支援事業等の福祉サービスを実施し、障がいのある子どもの地域生活を支援します。	【市内】 居宅介護事業所、移動支援事業所：複数あり 短期入所事業所：児童を受け入れている事業所1ヶ所 日中一時支援事業所：児童の受け入れ先なし		障がい福祉課	83
				■ 放課後等デイサービスの充実を図り、緊急時の対応ができるサービスの充実についても検討します。	放課後等デイサービス事業所数(令和3年3月末時点)：22ヶ所 放課後等デイサービス等事業所交流会：0回(新型コロナウイルスのため開催中止) 放課後デイサービスの延べ利用者数 実績値(R2)：4,102人 ⇒ 目標値(R6)：4,200人		障がい福祉課	83
51	子どもが安全に 育つための環境 づくり	子どもの安全確 保	交通安全教室等の実施	■ 警察の協力を得て、認定こども園、幼稚園及び保育所に通う児童に対し、安全な歩行の指導を行います。	「市立認定こども園での取組等」 ・紙芝居や絵本、DVD教材等を活用し、交通安全に関する指導を実施 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ交通安全教室等に係る様々な取り組みを実施	※例年、警察の協力による交通安全指導を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した	こども施設課	84
				■ 地域の特色に応じた交通安全指導を実施するとともに、認定こども園、幼稚園及び保育所が主体となり、授業参観等で年齢に応じた交通安全指導を行います。			こども施設課	84
				■ 警察の協力を得て、市立小学校等に通う1年生に対し、安全な歩行の指導を行います。	守口市立小学校及び義務教育学校全14校で、守口警察署の協力のもとでリモートによる交通安全教室を実施した。		保健給食課	84
				■ 市立小学校等に通う3・4年生に対し、安全な自転車の乗り方の指導を行います。	守口市立小学校及び義務教育学校全14校で、守口警察署の協力のもとでリモートによる交通安全教室を実施した。		保健給食課	84
				■ 地域の特色に応じた交通安全指導を実施するとともに、市立小・中学校等が主体となり、授業参観等で年齢に応じた交通安全指導を行います。	市内の子ども(15歳以下かつ中学生以下)の 交通事故発生件数 実績値(R2)：13件 ⇒ 目標値(R6)：14件		保健給食課	84

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
52	子どもが安全に育つための環境づくり	子どもの安全確保	安心して遊べる魅力的な公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化したブランコ等の遊具をより安全で、子どもが楽しく遊べる魅力的な遊具に更新します。また、定期的な点検等を実施し、適正な管理に努めます。 子どもを含めたすべての世代がのびのびと楽しく利用できるような特色を持たせた公園計画を検討し、魅力的な公園づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化計画に基づく遊具撤去・更新工事 市内公園20箇所/撤去23基/設置19基 公園施設・遊具の日常点検 点検回数4回/年 公園施設・遊具の定期点検 点検回数1回/年 		道路公園課	84
53	子どもが安全に育つための環境づくり	安全・安心まちづくりの推進	学校等での危機管理に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業等及び市立小・中学校等において、危機管理マニュアル等に基づいた危機対策の強化を図ります。 	「市立認定こども園での取組等」 ・地震・火災等を想定した避難訓練を実施(各施設 毎月1～2回程度) ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ施設での危機管理に向けた様々な取り組みを実施		こども施設課	85
					守口市立学校各校で避難訓練の実施回数 1回以上		学校教育課	85
				<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業等及び市立小・中学校等において、不審者対応マニュアルを活用し、警察等の協力を得ながら、不審者侵入時の対応に関する訓練を実施します。 	「市立認定こども園での取組等」 ・不審者訓練(職員が不審者を装い、さすまた等の使用)を実施(各施設年2回) ・警察協力による防犯教室を実施 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ施設での危機管理に向けた様々な取り組みを実施		こども施設課	85
					守口市立学校において全校が活用している。		学校教育課	85
			<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育事業等及び市立小・中学校等から不審者発生等の連絡を受けた場合は、速やかに各施設へ注意喚起を行います。また、保護者等へ大阪府警の安まちメール※の活用も呼びかけます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・不審者発生等の連絡を受けた場合は、速やかに各施設へ情報を共有 ・保護者等へ大阪府警の安まちメールの活用呼びかけを実施 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ施設での危機管理に向けた様々な取り組みを実施		こども施設課	85	
				守口市立学校において全校が活用している。		学校教育課	85	
54	子どもが安全に育つための環境づくり	安全・安心まちづくりの推進	子どもを守る防犯声かけパトロール	<ul style="list-style-type: none"> PTA及び地域団体のボランティアや警察等関係機関によるパトロール活動を促進します。 	防犯パトロール活動の年間実施回数 実績値 (R2) : 7回 → 目標値 (R6) : 14回	複数校において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できず。	学校教育課	85
55	子どもが安全に育つための環境づくり	安全・安心まちづくりの推進	防犯カメラの設置	<ul style="list-style-type: none"> 全市立小・中学校等に設置された防犯カメラで、不審者の侵入防止に努め、児童・生徒の安心安全を確保します。 	機器の点検を定期的に行うとともに、必要があれば速やかに修繕を行うことで、安全の維持に努めた。		学校管理課	85
				<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの犯罪を含めた地域の犯罪防止を目的に、市内の通学路を中心に1,000台の防犯カメラを設置しています。今後も引き続き、犯罪の抑止、安心感の向上に努め、子どもたちを犯罪から守ります。 	令和2年度の刑法犯認知件数は防犯カメラ設置前に比べ、60%超減少。	令和5年度には防犯カメラ台数を現在の1000台から1100台に増設し、引き続き犯罪の抑止、安心感の向上に努める。	危機管理室	85

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
56	子どもが安全に育つための環境づくり	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	書店・コンビニ・商業施設等の立入調査	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成指導員連絡協議会の協力を得ながら大阪府政策企画部青少年・地域安全室と共同で、青少年の利用が多く、青少年の育成に大きく影響する書店・コンビニ・商業施設等への立入調査を実施し、書店・コンビニ等に対しては陳列や販売方法等の自主的措置を働きかけます。また、商業施設等に対しては夜間の立入制限の状況を把握します。 	令和2年度実績なし。	大阪府政策企画部青少年・地域安全室と共同で行っていた「青少年社会環境実態調査」が終了したため、未実施である。	コミュニティ推進課	86
57	子どもが安全に育つための環境づくり	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	青少年育成指導員による子どもを見守る取組み	<ul style="list-style-type: none"> SNS等の普及による子どもを取り巻くインターネット環境の変化に対応していくため、青少年育成指導員が専門家によるインターネット等における有害情報への接続防止等に関する講演会・研修会へ参加するよう促進します。 地域や関係機関・団体と、より一層の連携を図り、夜間の見回り等の街頭活動や啓発活動を促進します。 	令和2年度実績なし。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施なし。	コミュニティ推進課	86
58	子どもが安全に育つための環境づくり	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	情報モラル教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育の導入やSNS等の普及による子どもを取り巻くインターネット環境の変化に対応していくため、教職員向けに講座や研修会を実施しています。 	情報教育担当者会を開催(3回)学習用タブレット端末導入に関する研修を実施 研修動画や機器操作マニュアルの提供によるICT機器の利用について研修を実施	教育センター	86	
				<ul style="list-style-type: none"> 授業のなかで、子どもたち自身、スマートフォンやSNS等の使用について考える機会を設けるなど、子どもたちが適切にインターネットを利用できるよう指導します。また、家庭における情報モラル教育の推進のため、入学説明会やPTA協議会等の機会を捉えて、保護者に向けてもフィルタリングの啓発を行います。 	守口市立学校全校で出前授業等の実施 教職員を対象に、関係諸団体と連携した研修の実施	学校教育課	86	
					情報モラル教育について授業等で取り扱った 学校数 実績値(R2) : 16校 ⇒ 目標値(R6) : 21校	教育センター	86	
59	子どもが安全に育つための環境づくり	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	青少年の非行防止活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成指導員が中心となって、「青少年の非行・被害防止強調月間」(7月)や「子ども・若者育成支援協調月間」(11月)に街頭啓発活動を実施するなど、学校と地域が連携を密にしながら、市全体で少年非行の防止活動に取り組んでいけるよう努めます。 	夜間巡回の実施回数 実績値(R2) : 6回 ⇒ 目標値(R6) : 25回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年どおりの夜間巡視が出来なかった。また、地域での行事が中止になり、夜間巡視する機会が無かった。	コミュニティ推進課	86
60	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	人権擁護の推進	人権啓発に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間、人権週間等を利用して、市民を対象とした講演会等を開催し、さまざまな人権課題に対する意識向上を図ります。 	講演会への参加者数 実績値(R2) : 123人 ⇒ 目標値(R6) : 400人	「男女共同参画週間記念のつどい」 「ヒューマンライツフェスティバル」 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ※令和2年度は作文を募集した。20点の作品が入選したが、「ヒューマンライツフェスティバル」が中止となったため発表・表彰は行われなかった。	人権室	87
				<ul style="list-style-type: none"> 小・中学生による人権啓発標語やポスター、作文の募集・発表等を通じて、人権意識の高揚を図るとともに、応募協力についても広く呼びかけを行います。 	「セミナー」4回シリーズ (10/8、10/15、10/22、10/29) 参加者 : 123人			

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
61	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	人権擁護の推進	人権教育への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の子どもが生命の尊さや他者への共感を大切にできる態度等を身につけることができるよう、認定こども園等で発達段階に応じた人権教育を充実します。また、市立小・中学校等に通う子どもがさまざまな人権問題を正しく理解し、認識を深めることができるよう、市立小・中学校等で人権教育を充実します。 	「市立認定こども園での取組等」 ・児童同士でいいところ探しなどを行うことにより、お互いを認め合い、他者への共感を大切にできる態度等を身に付ける教育・保育の充実を努めた。 ・学校教育課から配布された人権カレンダーを保育室等に掲示 ・人権教育に係る研修会への参加 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ人権教育に係る様々な取り組みを実施		こども施設課	87
				<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の啓発を目的として、人権カレンダーを毎年作成し、市立認定こども園・学校の新入生に配布するとともに各教室に掲示します。また、市役所やコミュニティセンター等にも人権カレンダーを配置し、広く市民に届くよう取り組みます。 	教職員を対象に、関係諸団体と連携した研修の実施。		学校教育課	87
				<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の啓発を目的として、人権カレンダーを毎年作成し、市立認定こども園・学校の新入生に配布するとともに各教室に掲示します。また、市役所やコミュニティセンター等にも人権カレンダーを配置し、広く市民に届くよう取り組みます。 	「市立認定こども園での取組等」 ・児童同士でいいところ探しなどを行うことにより、お互いを認め合い、他者への共感を大切にできる態度等を身に付ける教育・保育の充実を努めた。 ・学校教育課から配布された人権カレンダーを保育室等に掲示 ・人権教育に係る研修会への参加 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ人権教育に係る様々な取り組みを実施		こども施設課	87
				<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの人権教育が効果的に実施できるよう、市立小・中学校等の教職員に対する研修を実施します。 	3,800冊作成 (配付先) ・市立学校の新生 ・市立認定こども園の3歳児クラス在籍幼児の保護者 ・市立学校等学級数部(掲示用) ・私立認定こども園等(各園5冊×25園) ・市役所総合案内 ・生涯学習・スポーツ振興課窓口、学校教育課窓口 ・市内コミュニティセンター		学校教育課	87
62	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	人権擁護の推進	在日外国人児童生徒交流会	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校等に通う在日外国人の子どもとの交流会を設けることにより、多文化共生への理解を深めるとともに、当該児童・生徒のアイデンティティの育成を図ります。 	各校によって実施回数に違いはあるが、外国にルーツのある子どもたちが自己のアイデンティティの育成のため実施ができた。また、当該主催の人権教育に係る研修会を開催し、教職員の意識向上を図った。		学校教育課	88
63	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	人権擁護の推進	自立援助通訳派遣	<ul style="list-style-type: none"> 帰国、渡日の市立小・中学校等に通う子どもに対して、通訳を派遣します。 	対象者に対する派遣割合 実績値 (R2) : 49.1% ⇒ 目標値 (R6) : 100% 小学校: 4カ国12名 中学校: 3カ国9名	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休校等により派遣回数が減ったため。	学校教育課	88
64	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	児童虐待防止策の充実	家庭児童相談	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した子どもの専門相談機関として、18歳までの子どもについての悩みや問題の解決に向け、関係機関と連携を図りながら、相談や面談、家庭訪問等を実施します。 	相談件数: 2,308件 (令和3年3月末) (内訳: 養護相談2,291件、保健相談1件、障がい相談3件、非行相談1件、育成相談12件)		子育て世代包括支援センター	88
65	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	児童虐待防止策の充実	守口市児童虐待防止地域協議会	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の未然防止を図るとともに早期発見と早期対策を目的とした守口市児童虐待防止地域協議会を設置し、関係各課や大阪府中央子ども家庭センター[※]、大阪府守口保健所等関係機関との連携に努めます。 	守口市児童虐待防止地域協議会の年間開催回数 実績値 (R2) : 16回 ⇒ 目標値 (R6) : 12回以上 (月1回以上)		子育て世代包括支援センター	88
66	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	児童虐待防止策の充実	児童虐待防止相談	<ul style="list-style-type: none"> 18歳までの子どもの虐待について、問題の解決に向け、児童虐待防止外部アドバイザー[※]や大阪府中央子ども家庭センター、関係機関と連携を図りながら、相談や面談、家庭訪問等を実施し、児童虐待の防止に努めます。 	件数は123件あり、うち19件は子ども家庭センターに一時保護を依頼		子育て世代包括支援センター	88

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
67	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	児童虐待防止策の充実	児童虐待早期発見のための研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や教職員、福祉・医療・保健・警察等関係機関に対して、児童虐待早期発見のための啓発や研修を進めます。 	未実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域関係機関研修会、職員研修を中止した。	子育て世代包括支援センター	88
				<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした児童虐待に関する研修会等を開催し、虐待が発生する背景やその特性等についての理解を深めます。 	未実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止による実施制限により開催できなかったため	学校教育課	89
				<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした児童虐待に関する研修会等を開催し、虐待が発生する背景やその特性等についての理解を深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 連続講座（全3回）ペアレントトレーニング 令和2年12月3日、10日、17日 受講者6名、一時保育あり 連続講座（全3回）ペアレントトレーニング 令和3年1月14日、21日、28日 受講者6名、一時保育あり 研修の参加者数 実績値（R2）：12人 ⇒ 目標値（R6）：180人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ペアレントプログラムは全7回から全3回に実施日数を減らし、参加人数も10名から6名に減らして実施した。市民向け研修会は中止した。	子育て世代包括支援センター	89
68	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	児童虐待防止策の充実	養育支援訪問事業	<ul style="list-style-type: none"> 養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等必要な支援を行います。また、自分から支援を求めることができない家庭を早期に発見するため、地域のさまざまな資源を活用していくことを検討し、家庭での安定した子どもの養育が可能となるように努めます。 	令和2年11月より従来の相談型の養育支援訪問事業に加え、育児家事援助型のヘルパー派遣を実施 訪問回数 相談型：12回 育児家事援助型：73回		子育て世代包括支援センター	89
69	子どもの人権尊重と権利擁護の推進	子どもの立ち直り支援	子どもサポート体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 不登校など立ち直り支援が必要な子どもに対して、それぞれの状況に合わせてスクールソーシャルワーカー※の派遣や子ども家庭センター等関係機関が参加するケース会議を行うなど、関係機関が連携をとりながら、適切な対応がとれる体制の充実に努めます。 	守口市立学校及び義務教育学校に月1回（1回6時間）		学校教育課	89
70	子育てにゆとりがもてる環境づくり	子育てバリアフリーの推進	安全・快適な道路環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 歩車分離による歩行者の安全確保、ベビーカーや車椅子等の通行に配慮した歩道の新設・改良、横断防止柵の設置等、すべての人にやさしい道路環境の整備を通じて、子どもや子育て中の人の通行の安全確保を図ります。 整備可能な主要道路については、歩行者・自転車・車両の分離を検討し、歩道の改良、横断防止柵の設置等の整備に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市道三郷5号線他：歩道拡幅工事 市道大枝12号線他：歩道拡幅工事 市道守口78号線：歩道拡幅工事 通学路安全対策：路側線及びグリーンベルト設置 		道路公園課	90
71	子育てにゆとりがもてる環境づくり	子育てバリアフリーの推進	公共施設の子育てバリアフリーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 市役所庁舎の整備にあたっては、乳幼児とその保護者が利用しやすい施設となるよう配慮し、子育てバリアフリーの推進を図ります。 	—	令和2年度は、森林環境譲与税を活用した木質化を行い、ベビーベッドや棚・パンフレットスタンドを設置した。その他一定の整備は完了している。また、要望等があればより利用しやすいように施設の整備を検討します。	総務部総務課	90
72	子育てにゆとりがもてる環境づくり	子育てバリアフリーの推進	「赤ちゃんの駅」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 授乳やおむつ交換ができる場所を無料で提供できる施設で、「赤ちゃんの駅」として登録された施設の名称や場所等を紹介し、子育て家庭が安心して外出できる環境を整備します。 	赤ちゃんの駅登録数 (移動式赤ちゃんの駅貸出し数を含む) 実績値（R2）：40か所 ⇒ 目標値（R6）：55か所	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントが中止になったことに伴い、移動式「赤ちゃんの駅」貸出し件数が4件と大きく減少したため。	子育て世代包括支援センター	90
73	子育てにゆとりがもてる環境づくり	すべての子育て家庭への支援	地域子育て支援拠点事業	<ul style="list-style-type: none"> 各々の地域子育て支援拠点施設において、地域の子育て支援機能の充実に図り、子育ての不安解消等を緩和するため、乳幼児及びその家族が相互に交流を行う場所を提供し、子育てに関する相談や地域の子育て情報の提供、子育て講座などを実施します。 	地域子育て支援拠点事業の延べ利用者数 実績値（R2）：14,015人 ⇒ 目標値（R6）：32,169人	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各拠点施設において、利用を休止していた期間があったため、利用者数が大幅に減少した。	子育て世代包括支援センター	91

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
74	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	子育て援助活動支援事業 (ファミリーサポート事業)	<ul style="list-style-type: none"> 地域において育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(協力会員)が会員となり、育児について助け合う会員組織として、子育て援助活動を推進し、地域で子育てを支援する環境づくりに努めます。 子育て中の保護者が講座等に気軽に参加できるよう、生後3か月から就学前までの乳幼児を対象に一時預かりサービスを行います。 	依頼件数に対する実施割合 実績値(R2) : 99% ⇒ 目標値(R6) : 100%		子育て世代包括支援センター	91
75	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	一時預かり事業	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業等において、保護者の就労や体調不良、冠婚葬祭やリフレッシュ等の理由で、一時的に昼間の保育が困難な場合に、必要な保育を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 在園児を対象とした一時預かり(幼稚園型) 実施施設数:27施設 (内訳)市立認定こども園(3)、私立認定こども園(23)、私立幼稚園(1) 延べ利用者数 実績値(R2): 55,552人 ⇒ 目標値(R6): 74,093人 ※私立認定こども園(1)は利用者数を計上していないため、実績値には未計上 在園児以外を対象とした一時預かり(一般型) 実施施設数:19施設 (内訳)私立認定こども園(10)、私立保育所(1)、私立小規模保育事業所等(7)、 私立企業主導型保育事業(1) 延べ利用者数 実績値(R2): 1,443人 ⇒ 目標値(R6): 2,122人 	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園等によるもの	こども施設課	91
76	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	休日保育事業	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の勤務形態等の都合により、日曜日・祝日に家庭で保育できない場合に、保育を必要とする乳幼児を対象に、必要な保育を提供します。 	未実施	当該事業は未実施であるが、保護者の勤務形態等の都合により、日曜日・祝日に家庭で保育できない場合は「もりぐちファミリーサポート」等を活用することにより、その保護者に必要な保育を提供。今後については、保育ニーズを踏まえ、実施について検討を続けていく。	こども施設課	91
77	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	子育て情報の周知	<ul style="list-style-type: none"> 広報や市ホームページ等さまざまな媒体を活用し、保護者へ向けた子育てに関する情報提供を行います。 子育て世代包括支援センターが定期的に発行するリーフレット『0歳からの子育てつうしん「もりっこ」』は、乳幼児の子育てをしている保護者のニーズに合った内容・情報を掲載しており、より多くの家庭にリーフレットが届くよう取り組みます。 市ホームページでは、外国人向けに英語、中国語及び韓国語で閲覧できるようになっています。 	<p>情報提供の媒体数 実績値(R2) : 9種類 ⇒ 目標値(R6) : 9種類</p> <p>年間翻訳数 英語:17,852件(月平均1,487件) 中国語:3,257件(月平均271件) 韓国語:1,542件(月平均128件)</p>		子育て世代包括支援センター	92
78	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	未就園児招待	<ul style="list-style-type: none"> 未就園児とその保護者が身近で安心して交流できる場所として、認定こども園、幼稚園及び保育所において、主任児童委員等の協力を得て園庭開放や子育て相談等を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 「市立認定こども園での取組等」 各施設で実施している園庭開放時に、主任児童委員の協力を得て子育て相談等を実施 ※私立認定こども園等の各施設において、それぞれ未就園児招待に係る様々な取り組みを実施 		こども施設課	92
79	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	児童手当	<ul style="list-style-type: none"> 生活の安定に寄与し、子どもが健やかに成長できるよう、0歳から中学校卒業まで(出生の日から満15歳に達する以後における最初の3月末日を経過するまで)の子どもを養育している人に対して、支給を行います。 	<p>受給者数:9,906人(令和3年2月末現在) 支給金額:2,066,470,000円 支給詳細:3歳未満15,000円、 3歳以上小学校修了前10,000円(第三子以降は15,000円)、 中学生10,000円 ※受給者が所得制限を超えている場合は特例給付として一律5,000円 支給時期:原則として年3回(6月、10月、2月)</p>		子育て支援政策課	92
80	子育てにゆとり がもてる環境づくり	すべての子育て 家庭への支援	実費徴収に係る 補足給付を行う事業	<ul style="list-style-type: none"> 低所得で生計が困難である者等の子どもが、特定教育・保育等の提供を受けた場合において、当該保護者が支払うべき実費負担の一部を補助することにより、これらの者の円滑な特定教育・保育等の利用を図ります。 	<p>子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に在籍する、低所得で生計が困難である者等の児童の副食材料費に要する費用の補助を新たに実施</p> <p>実対象者:25人</p>		こども施設課	92
81	子育てにゆとり がもてる環境づくり	子育ての中の社会参加支援	子育て短期支援 事業(ショートステイ)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労や体調不良、出産、出張、育児不安等の理由で、夜間の保育が困難な場合に、宿泊を伴う場合も含め必要な保育を一時的に提供します。 	<p>利用希望者に対する利用率 実績値(R2) : 100% ⇒ 目標値(R6) : 100%</p> <p>利用件数7件 27人日</p>	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集団生活となるショートステイの利用を見合わせた人が多かった。	子育て世代包括支援センター	93

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
82	子育てと仕事の 両立支援	親の就労と子育て の両立への支 援の推進	幼児教育・保育の 無償化	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月から、世帯の所得等に関係なく、0歳児から5歳児の認定こども園・保育所・幼稚園及び小規模保育事業等の利用者負担額の無償化を実施しています(子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園については、世帯の所得等に関係なく月額25,700円を上限に無償化)。また、令和元年10月から始まった国の幼児教育・保育の無償化に伴い、認可外保育施設等の利用料についても世帯の所得状況等によって無償化の対象となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業利用者数(令和2年4月1日時点)】 ・1号認定:1,021人 ・2号認定:1,922人 ・3号認定:1,663人(※1) (※1)3号認定の市民税課税世帯は独自で無償化を実施 【特定子ども・子育て支援施設等利用者数(※2)】 ・新制度未移行幼稚園:1,886人(月平均157.1人) ・預かり保育事業:2,095人 ・認可外保育施設等 ①認可外保育施設:91人(月平均7.5人) ②一時預かり:4人 ③病児保育:0人 ④子育て援助活動支援事業:0人 (※2)令和4年2月時点で把握している令和2年度中の年間延べ利用者数実績 		こども施設課	94
83	子育てと仕事の 両立支援	親の就労と子育て の両立への支 援の推進	待機児童の解消	<ul style="list-style-type: none"> 保育需要に対応するため、保育の受け皿拡大に努めるとともに、よきめ細やかな利用調整に努めます。 	令和2年4月1日時点における厚生労働省定義の待機児童は0人。		子育て支援政策課	94
					令和2年4月1日時点における厚生労働省定義の待機児童数 実績値(R2): 0人 ⇒ 目標値(R6): 0人		こども施設課	94
84	子育てと仕事の 両立支援	親の就労と子育て の両立への支 援の推進	時間外保育事業 (延長保育事業)	<ul style="list-style-type: none"> 就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、認定こども園や保育所等で通常の保育時間を超えた保育を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施施設数:53施設 (内訳) ・市立認定こども園(3)、私立認定こども園(23)、私立保育所(4)、小規模保育事業所等(23) 実利用者数 実績値(R2): 1,861人 		こども施設課	95
85	子育てと仕事の 両立支援	親の就労と子育て の両立への支 援の推進	病児保育事業	<ul style="list-style-type: none"> 保育を必要とする乳幼児が病中や病後のため、集団保育が困難な場合において、必要な保育を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施施設数:3施設 (内訳) ・病児対応型(2) ・北てらかた森のこども園(カンガルーキッズケアルーム) ・橋波幼児舎(ラポールチャイルドケアルーム) ・病後児対応型(1) ・高瀬ひまわりこども園(病後児デイケアセンター) 延べ利用者数 実績値(R2): 28人 ⇒ 目標値(R6): 2,979人 	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休業等によるもの	こども施設課	95
86	子育てと仕事の 両立支援	親の就労と子育て の両立への支 援の推進	もりぐち児童クラブ(「入会 児童室(放課後児童健全育 成事業)」と「登録児童室 (放課後子供教室)」)	<ul style="list-style-type: none"> 入会児童室(放課後児童健全育成事業)では、就労等の理由で保護者が昼間家庭にいない小学校等の1~3年生の児童を対象に、安全確保と保護機能を持たせた生活の場を提供します。 登録児童室(放課後子供教室)では、小学校等の1~6年生と満3歳以上の幼児(保護者等同伴)を対象に、自主的な遊び場を提供します。 もりぐち児童クラブの2つの機能である「登録児童室」と「入会児童室」のそれぞれの独自性を尊重しつつ、利用者ニーズに寄り添いながら、子どもたちが異年齢交流を通じて社会性や協調性を育む機会の充実に努めるとともに、地域の参画を得た交流・体験活動を通して2つのクラブの連携を推進するなど、もりぐち児童クラブのさらなる充実に図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 入会児童室への入会希望にかかる待機児童数 実績値(R2): 0人 ⇒ 目標値(R6): 0人 登録児童室の年間延べ利用者数 実績値(R2): 54,109人 ⇒ 目標値(R6): 153,490人 	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、登録児童室を当面の間、臨時閉室及び利用停止としていたため。	子育て支援政策課	95
87	子育てと仕事の 両立支援	ひとり親家庭等の 自立支援の推進	母子・父子自立支援員による相談	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口やハローワークとの連携のなかで、母子家庭の母、寡婦及び父子家庭の父の自立に必要な情報提供や求職活動に関する相談に応じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員の配置数 実績値(R2): 2人 ⇒ 目標値(R6): 1人 		子育て支援政策課	96
88	子育てと仕事の 両立支援	ひとり親家庭等の 自立支援の推進	児童扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> 生活の安定と自立の促進に寄与することを目的に、父または母の一方、もしくは両親のいない子どもの養育者から養育を受けているひとり親家庭等の18歳までの子ども(子ども本人に一定の障がいがある場合は20歳未満の者)を養育している人に対して、手当を支給します。 	<ul style="list-style-type: none"> 受給者数:1,283人(令和3年3月末現在) 支給金額:695,852,010円 		子育て支援政策課	96

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
89	子育てと仕事の 両立支援	ひとり親家庭等の 自立支援の推進	ひとり親医療費助成制度	ひとり親家庭の18歳までの子どもと母もしくは父、または18歳までの両親のいない子どもの養育者に対して、健康保険が適用される医療費の一部を助成します。	対象者:3,184人(令和3年3月末現在) 助成件数:32,569件 助成金額:90,206,907円		子育て支援政策課	96
90	子育てと仕事の 両立支援	ひとり親家庭等の 自立支援の推進	母子・父子・寡婦福祉資金 貸付制度	母子家庭の母、寡婦及び父子家庭の父に対して、経済的な自立や子どもの就学等で資金の貸付が必要な場合において、資金の貸付や返還の相談に応じています。	修学資金:12件 就学支度資金:1件		子育て支援政策課	96
91	子育てと仕事の 両立支援	ひとり親家庭等の 自立支援の推進	母子家庭及び父子家庭高 等職業訓練促進給付金	母子家庭の母、または父子家庭の父が、就職や転職に有利な資格を取得するため、1年以上養成機関で修業する場合、その修業期間中の生活を支援するため、高等職業訓練促進給付金を支給します。	訓練促進給付金:11件(うち、新規7件) 修了支援給付金:1件		子育て支援政策課	96
92	子育てと仕事の 両立支援	男女共同子育て の推進	男女共同参画推進計画の 推進	平成27年度に策定した「第3次守口市男女共同参画推進計画」の取組みについて、周知に努め、計画目標の達成に向け具体的な施策を推進します。 市民を対象とした多様な働き方やバランスのとれた働き方への理解を深める講習会等を開催し、職業生活優先の意識や性別による固定的役割分担意識を改めるとともに、家庭生活・家庭教育の重要性を認識し、ライフスタイルを考えるきっかけづくりに努めます。	守口市男女共同参画推進計画の達成率 実績値(R2): 57% ⇒ 目標値(R6): 80% 令和3年3月に「第3次守口市男女共同参画推進計画」の改訂を行った。	「男女共同参画週間記念のつどい」 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 男女共同参画推進計画の達成率については計画に対する各課の自己評価に基づき算定。	人権室	97
93	子育てと仕事の 両立支援	男女共同子育て の推進	企業等に対する啓発活動	市内の企業等に対し、守口市企業人権推進連絡会*を通じて、男女共同参画に関する講演会や研修会への参加を促すとともに、パンフレットの配布等により男女共同参画に対する理解促進に努めます。	企業に対する人権問題研修会への参加者数 実績値(R2): 0人 ⇒ 目標値(R6): 30人	守口市企業人権推進連絡会主催「人権問題研修会」 「部落解放研究第54回全国集会」 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。	人権室	97
94	子育てと仕事の 両立支援	男女共同子育て の推進	男性セミナー	男性の家事・育児・介護等への参画を促進するため、男性も参加しやすい講座・教室等を開催します。	男性セミナーへの参加者数 実績値(R2): 12人 ⇒ 目標値(R6): 60人	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座の中止や参加を自粛する利用者が増加した。	コミュニティ推進課	97
95	子育てと仕事の 両立支援	ワーク・ライフ・バ ランス(仕事と生 活の調和)の実現	ワーク・ライフ・バランスの 実現に向けた活動	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市民・企業等に対して広報・啓発・情報提供活動を行います。 関係機関と連携を図り、子育て女性の就労に関する相談やマタニティ・ハラスメント等の労働問題に関する相談に応じます。 商工会議所と連携を図り、女性向け創業支援等に取り組みます。 フレックスタイム制や子育て期の短縮時間勤務、テレワーク等多様な勤務形態導入への働きかけに努めます。 長時間勤務を前提に組み立てられたワークスタイルの見直しを呼びかけるなど、労働時間短縮への働きかけを行います。 出産や子育てによる退職者について再雇用制度の導入等への働きかけに努めます。	ワーク・ライフ・バランスの啓発回数 実績値(R2): 5回 ⇒ 目標値(R6): 7回 商工会議所等との連携を図り、創業相談窓口の設置。 創業塾の実施。 創業ハンズオン支援の実施。 テレワークオフィス大宮の周知。 リーフレットの配架による周知。		地域振興課	98
96	子育てと仕事の 両立支援	ワーク・ライフ・バ ランス(仕事と生 活の調和)の実現	育児休業制度の普及	育児休業制度の定着と利用しやすい環境づくりに向けて、事業者に対して呼びかけを行います。 育児休業制度への理解や関心を深めてもらうため、広報や市ホームページ等の媒体を活用して、制度の内容を分かりやすく周知します。	育児休業制度に関する取得促進啓発回数 実績値(R2): 3回 ⇒ 目標値(R6): 5回 関係部局のリーフレットを課窓口で配架し、周知。		地域振興課	98
					育児休業制度に関する取得促進啓発回数 実績値(R2): 1回 ⇒ 目標値(R6): 5回 窓口でリーフレット等を配架するとともに、市の公式LINEアカウントを活用し、育児休業制度について情報発信を行い、若い世代がライフデザインを考える機会の提供に努めた。	子育て支援政策課	98	
97	地域力の活用による 子育て支援	子育て支援のネット ワークづくり	子育てサークルの活動支援	市内の子育てサークルに対し、用品の貸出しやサークル同士の交流会の実施等、自主的な運営に関する支援を行うとともに、運営に関する相談を実施します。	未実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サークル代表者会議、サークル交流会、サークル出前はいずれも開催しなかったが、子育てサークルの紹介として、チラシの配布は引き続き行った。	子育て世代包括支援センター	99
98	地域力の活用による 子育て支援	子育て支援のネット ワークづくり	子育て世代包括支援セン ターフリースペース「もりラ ンド」における親子交 流の場の提供と 交流の促進	「もりランド」は親子が一緒になって遊んだり、わらべ歌や手遊び、絵本を楽しんだりすることができる親子交流の場であり、乳幼児とその保護者であれば、誰でも利用できます。また、施設内にある掲示板には、親子交流に関する情報が掲示されており、子育て中の親子が気軽に一緒に出かけられる場所も掲示しています。今後は、親子交流はもとより、子育て中の親同士が自然と交流できる仲間づくりの場としてもさらなる充実を図ります。	もりランドの年間延べ利用者数 実績値(R2): 5,209人 ⇒ 目標値(R6): 10,000人	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「もりランド」の利用を約半年間休止したことにより、利用者数が大幅に減少した。	子育て世代包括支援センター	99

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた 内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合は それに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している 場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
99	地域力の活用による子育て支援	世代間交流の推進	「さんあい広場」等での世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアとの協力により、さんあい広場(さた、さんごう、かすが、とうだ、きんだの市内5か所)等において、高齢者と子どもたちが交流を深めることができるよう、音遊びを通じた世代間交流を推進します。 	世代間交流イベントへの参加者数 実績値(R2)： <u>0</u> 人 ⇒ 目標値(R6)：840人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	高齢介護課	100
100	地域力の活用による子育て支援	家庭教育への支援の充実	守口親まなびの会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 親となる準備期の中学生や高校生から子育て中の保護者や子育てを終えた人等幅広い世代の人を対象にした“親を楽しむワークショップ”等の活動を実施する「守口親まなびの会」に対して、大阪府教育委員会からの研修情報を提供するなど、親学習リーダーの養成に努め、親学びの機会の充実を図ります。 	親学習リーダーの人数 実績値(R2)： <u>7</u> 人 ⇒ 目標値(R6)：9人	<ul style="list-style-type: none"> 府のスキルアップ研修などに親学習リーダーを派遣 「ホッとスマイル子育て講座」：延18名参加 	生涯学習・スポーツ振興課	100
101	地域力の活用による子育て支援	子どもの多様な体験活動の機会の充実	子どもの体験学習	<ul style="list-style-type: none"> 各コミュニティセンターにおいて、夏休みや冬休みなどの長期休暇を利用し、工作教室や料理教室などの体験学習を実施します。 	子ども体験学習の活動実績 (開催回数・参加者数) コミュニティセンターでの子ども体験学習： 実績値(R2)： <u>(12回・72人)</u> ⇒ 目標値(R6)： <u>(9回・260人)</u>	(子ども体験学習) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座の中止や参加を自粛する利用者が増加した。 年間9事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	コミュニティ推進課	101
				<ul style="list-style-type: none"> 子どもが歴史に興味や親しみを持てるよう、文化財に関連する体験学習を実施します。 	子どもの考古学教室 実績値(R2)： <u>(1回・34人)</u> ⇒ 目標値(R6)： <u>(1回・14人)</u>		生涯学習・スポーツ振興課	101
				<ul style="list-style-type: none"> 守口市立図書館において、子どもたちの学ぶ意欲を引き出すための体験学習を実施します。 	守口市立図書館子ども向けイベント 実績値(R2)： <u>(4回・1,492人)</u> (守口市立図書館主催事業) ハンコで似顔絵を作ろう：延232名参加 よしおかアコさんの宝さがしラリー：延566名参加 よしおかアコさんえほんのひろば：延679名参加 ヒンメリを作ろう：15名参加		生涯学習・スポーツ振興課	101
102	地域力の活用による子育て支援	子どもの多様な体験活動の機会の充実	芸術・伝統文化にふれる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> もりぐち歴史館「旧中西家住宅」では、かるた会など四季折々の行事、また、美術展覧会や日本南画院大作品展、市民文化祭での伝統芸能の鑑賞会など、子どもたちが伝統文化や芸術にふれる機会を提供します。 	活動実績(行事数・参加者数) 実績値(R2)： <u>9回・433人</u> ⇒ 目標値(R6)：6回・1,000人 七夕まつり：56名参加 敬老の日家族大集合記念写真：45名参加 お月見コンサート：53名参加 100年前の蓄音機で懐かしの音色：44名参加	年間26事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館及び中止。	生涯学習・スポーツ振興課	101
103	地域力の活用による子育て支援	子どもの多様な体験活動の機会の充実	地域コーディネーターの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区で地域行事の支援や中学生による読み聞かせ会などの行事を実施している地域コーディネーターの活動を支援し、地域の教育環境づくりの推進に努めます。 	地域コーディネーター主催の中学生による読み聞かせ会の開催回数 実績値(R2)： <u>0</u> 回 ⇒ 目標値(R6)：60回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	生涯学習・スポーツ振興課	101

※令和6年度数値目標に対する令和2年度実績の乖離が10%以上ある場合。

No	A. 施策目標	B. 推進項目	C. 事業	D. 子ども・子育て支援事業計画に掲げた内容・今後の展開	F. 令和2年度実績 (令和6年度数値目標がある場合はそれに対する実績を記入)	H. (備考) ①令和2年度実績が令和6年度数値目標と大きく乖離している場合(※)はその理由を記入。 ②未実施の場合はその理由を記入。	I. 担当課	J. 頁
104	地域力の活用による子育て支援	子どもの多様な体験活動の機会の充実	青少年育成指導員 校区活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会親善スポーツ大会や子ども会駅伝、子どもまつりなどの機会を通して子どもたちの地域間や異年齢間の交流親睦を図り、心身ともに健やかに成長することができるよう青少年育成指導員の活動を支援します。 青少年育成指導員の活動を行うために必要となる知識や技能を習得するための講習会や研修会への参加支援を行います。 	青少年育成指導員主催及び共催のイベント・研修会の開催回数 実績値 (R2) : 0回 ⇒ 目標値 (R6) : 7回	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全ての行事が中止となったため。	コミュニティ推進課	102
105	地域力の活用による子育て支援	子どもの居場所づくり	市立児童センター	<ul style="list-style-type: none"> 健全な遊びを通じて、就学前の乳幼児(保護者等同伴)と小学生の子どもたちの健康で豊かな心を育てる活動を行う場所として運営を行います。また、子育て講座や遊びの講座などの充実を図り、子どもたちの健やかな育ちを支援します。 	市立児童センターの年間延べ利用者数 実績値 (R2) : 7,022人 ⇒ 目標値 (R6) : 13,500人 「子育て講座」 年6回開催(毎月1回を目安に開催)、参加数:40組 「絵本の時間」(絵本の読み手サークル) 年6回開催、参加人数:96人 「絵本の時間」(職員) 年3回開催 参加人数:24人 「なかよしキッズ」 年6回開催、参加人数:約174人 「わくわくタイム」 年1回開催 参加人数:20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日～6月14日・12月4日から2月末まで休館し、各行事等も中止。	子育て世代包括支援センター	102
106	地域力の活用による子育て支援	犯罪等の被害から子どもを守るための活動支援	「こども110番の家」運動	<ul style="list-style-type: none"> 地域の家庭・団体等の協力を得て、子どもの緊急避難場所としての役割を担う「こども110番の家」運動を推進します。 	「こども110番の家」登録件数 実績値 (R2) : 1,513件 ⇒ 目標値 (R6) : 1,550件		コミュニティ推進課	102
107	地域力の活用による子育て支援	犯罪等の被害から子どもを守るための活動支援	「少年を守る店」運動	<ul style="list-style-type: none"> 地域の商店・業者等の協力を得て、未成年の非行防止に協力する「少年を守る店」運動を推進します。 	「少年を守る店」登録件数 実績値 (R2) : 381件 ⇒ 目標値 (R6) : 420件		コミュニティ推進課	103
108	地域力の活用による子育て支援	犯罪等の被害から子どもを守るための活動支援	登下校時の安全確保(見守り隊・声かけ隊)	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校等に通う子どもたちの登下校時の安全を守るため、PTA及び地域団体のボランティアの協力を得て取組みを促進します。 	6小学校区での年1回声かけパトロールを実施。 全小学校区で毎日の登下校の見守り等実施。	声かけパトロールについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により複数校実施できず。	学校教育課	103